

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座 教授
氏名 Name	藤原克美
専門分野 Academic Field	ロシア・ソビエト経済論

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ソビエト「消費社会」の研究				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words) 現在は 1960 年代以降のソビエト都市住民の消費生活を研究しているが、本年度は科研費（C）「不足のなかの「消費社会」」の最終年度であるため、各種商品の流通・取得方法から、ソビエトの消費文化の特徴を総合的に検討する。まず、昨年度に「レバダ・センター」を通じて実施したインタビューを整理し、論文として発表する。また、プロジェクトの総括として 2019 年 2 月 9 日に国際シンポジウムを開催する予定である。加えて、9 月 6-8 日にポーランドのワルシャワにおいて開催される 15 th European Association for Comparative Economic Studies Conference では“Russian Consumers and the State in the Globalized World”のタイトルで報告を行う。 科研費（B）「東北アジア辺境地域多民族共生コミュニティ形成の論理：中露・蒙中辺境に着目して」（代表：岡洋樹東北大学教授）では、満洲国下におけるロシア人の状況を、チューリン百貨店を事例として検討する。本プロジェクトも最終年度であり、共著執筆にむけて準備を行う。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ソビエト経済史	経済政策 (ロシア)			
キーワード Keywords*2	ソビエト	ロシア	消費社会	ロシア企業	